

令和8年度 第49回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会岩手県予選会

1 大会情報

- (1) 主催 (一社)岩手県水泳連盟
 (2) 共催 盛岡市
 (3) 後援 岩手県教育委員会 (公財)岩手県体育協会 (公財)盛岡市スポーツ協会
 (4) 主管 (一社)岩手県水泳連盟 (特非)盛岡市水泳協会
 (5) 期日 令和8年7月26日(日)
 (6) 会場 盛岡市立総合プール〔25m×8レーン〕
 住所：盛岡市本宮5-3-1

2 競技方法

- (1) 競技は、2026年度(公財)日本水泳連盟競技規則により行う。
 (2) 競技は、種目別、男女別に行う。
 ※参加者数により、同種目において異性別を同時に競技することがある。
 (3) 全てのレースをタイムレース決勝とする。
 (4) リレー・メドレーリレー・背泳ぎを除く予選競技はオーバーザトップ方式で行う。競技が終わった選手は横退水をすること。

3 班組・年齢区分・競技種目

- (1) 参加年齢の決定は、全国大会(本選)の第1日目の満年齢とする。

	10歳以下	11～12歳	13～14歳	15～16歳	チャンピオンシップ
自由形	50	50 100 200	50 100 200 400	50 100 200 400	50 100 200 400 女子 800 男子 1500
背泳ぎ	50	50 100	100 200	100 200	50 100 200
平泳ぎ	50	50 100	100 200	100 200	50 100 200
バタフライ	50	50 100	100 200	100 200	50 100 200
個人メドレー	200	200	200 400	200 400	200 400
リレー	4×50	4×50	4×100	4×100 チャンピオンシップ	
メドレーリレー	4×50	4×50	4×100	4×100 チャンピオンシップ	

↑15歳以上のリレー・メドレーリレーは
 チャンピオンシップのくくりになります
 (訂正)

- (注1) 参加年齢区分の(公財)日本水泳連盟が制定する2024年度資格級における6級を突破していること。チャンピオンシップについては、17歳の6級を突破していること。
 (注2) チャンピオンシップへの参加は、本選は18歳以下である。ただし、岩手県予選では、他の大会への参加標準記録の突破のチャンスを増やせるように、18歳を超えた選手の参加も認

める。また、本選には背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライにおいて50m種目はないが、同様の理由から実施する。(確認)

(注3) 10歳以下の種目は、本選と同様、10歳は10歳の標準記録。9歳以下は9歳の標準記録を突破していることが条件となる。本県では、10歳は10歳の6級、9歳以下は9歳の6級を突破している選手が申し込むことができることとする。(確認と追加)

(注4) それぞれの年齢区分を守って申し込むこと。ただし、それぞれの年齢区分に、出場したい種目がない場合は、本選に出場することはできないが、岩手県予選では次のとおり参加できることとする。

○12歳以下の選手が背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの200mや、400m個人メドレーに出場したい場合 ⇒ 13歳の6級を突破していれば、13～14歳区分に出場することができる。

○10歳以下の選手が、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100mや、自由形の200mに出場したい場合 ⇒ 11歳の6級を突破していれば、11～12歳区分に出場することができる。

(確認と追加)

(注5) リレー・メドレーリレーにおいても、年齢区分を守って申し込むこと。ただし、JO本選以外の全国大会や新記録に挑戦するチームに限り、年齢区分を超えたチーム編成での出場を認める。その際の申し込み区分は、チーム内の最年長の選手の年齢区分に申し込むこと。

(2) エントリータイムによる混合分け方式とする。

4 競技順

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 400m自由形 | (12) 4×100mメドレーリレー |
| (2) 200m個人メドレー | (13) 400m個人メドレー |
| (3) 200m背泳ぎ | (14) 800m自由形 |
| (4) 200mバタフライ | (15) 1500m自由形 |
| (5) 200m平泳ぎ | (16) 100m自由形 |
| (6) 50m自由形 | (17) 100m背泳ぎ |
| (7) 50m背泳ぎ | (18) 100mバタフライ |
| (8) 50mバタフライ | (19) 100m平泳ぎ |
| (9) 50m平泳ぎ | (20) 4×50mフリーリレー |
| (10) 200m自由形 | (21) 4×100mフリーリレー |
| (11) 4×50mメドレーリレー | |

6 申込規定

(1) 資格

- ① 選手が所属する団体(チーム)は、2026年度(公財)日本水泳連盟競技者登録完了団体(チーム)であること。
- ② 選手は、令和8年度(公財)日本水泳連盟競技者登録完了者であること。
- ③ 出場する団体(チーム)は、公認競泳競技役員資格を保有する競技役員を1名以上、帯同役員として協力すること。
※参加申込書の協力帯同役員の欄に氏名を記入すること。
- ④ 原則として、他県の登録団体(チーム)の出場を認めない。
- ⑤ 上記④に記載されている県外の登録団体及び選手であっても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔本則8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び年齢基準等)〕に定められた「ふるさと選手制度」を活用し、国体に岩手県代表選手として出場する権利を持っている者は県内選手として参加できる。

(2) 制限

- ① 出場種目数の制限はない。
- ② 参加年齢区分の(公財)日本水泳連盟が制定する2024年度資格級における6級を突破していること。
- ③ リレー競技に男女混合の出場は認めない。

(3) 申込について

① 申込必要書類等

(a) 参加申込書

※岩手県水泳連盟HPよりダウンロードし、申込金領収書のコピーを添付。

(b) 競技会申込(エントリー)一覧

※Web-SWMSYSより印刷した物。

(c) 競技会申込(エントリータイム)一覧

※Web-SWMSYSより印刷した物。

(d) 競技会申込(リレー)一覧

※Web-SWMSYSより印刷した物。

(e) 申込金

個人種目1種目につき1,500円

リレー種目1チームにつき3,000円

大会参加費1人500円

※振り込んだ後に受領証のコピーを上記(a)に貼付

② 申込先

〒020-0866

岩手県盛岡市本宮5丁目1-11熊さんビル3階
岩手県水泳連盟「令和8年度夏季J〇予選事務局」宛

③ 振込先

岩手銀行 城西支店(108) 普通口座 2053968
名義人 一般社団法人岩手県水泳連盟 会長 小田島秀俊

④ 申込締切

- (ア) Web-SWMSYSでのエントリー締切は、令和8年6月26日(金)とする。
(イ) 上記①申込必要書類等の(a)~(d)の締切は、令和8年6月29日(月)必着とする。
大会事務局に郵送、もしくは持参すること。
(ウ) 上記①申込書類等の(e)申込金は、岩手県水泳連盟郵便口座に振り込むこと。

7 申込の確認・訂正・種目の変更

- (1) Web-SWMSYSエントリー後に、HPでエントリー一覧を公開する。各団体(チーム)ごとにHPで確認すること。
(2) 6月29日の申し込み締め切りの後の種目の変更と種目の追加は、7月5日(日)まで認める。ただし、参加種目数を申し込んだ数より減らすことは認めない。
(3) エントリータイムの入力ミスにより6級の記録を突破していない選手はこの訂正受付期間に必ず訂正すること。なお、訂正しない場合は当該種目への出場を認めない。また、その場合、種目代及びプログラム代の返金はしない。
(4) 主催者側の理由で申込状況、あるいはプログラム掲載内容に相違があった場合は、申し込み状況の訂正受付期間以外でも訂正を行う。

8 競技会について

- (1) 選手の入場について
- ① 開場時刻は7:00とする。
 - ② 先行入場は実施しない。控え場所は指定の場所にとること。
 - ③ 入り口は、1階入り口とする。
 - ④ ウォーミングアップ時の更衣室の密を避けるため自宅より水着を着用してくること。
- (2) 保護者の入場について
- ① 自分のお子様の応援のみとします。お子様の競技開始の10分前から入館可能となります。お子様の競技が終わりしだい退館をお願いします。複数種目の出場であっても1レースごとに退館してください。

② 入館から競技開始までの時間の使い方について

入館	7:00
ウォーミングアップ	7:00～8:55
公式スタート練習	7:50～8:10
役員打ち合わせ	8:30～8:45
競技開始	9:00～ (観覧入場 8:50～)

(3) 競技について

- ① 本大会は、2026年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- ② リレー・メドレーリレー・背泳ぎを除く競技はオーバーザトップ方式で行う。競技が終わった選手は横退水をすること。
- ③ World Aquatics（世界水泳連盟）公認の水着を着用すること。
- ④ 競技を棄権する場合は、棄権用紙を選手招集所に提出すること。（棄権に伴う返金はない。）
- ⑤ 招集所から各レーンの導線にバケツを用意する。（※前組のレース中に自レーンで水を浴びることを禁止する）
- ⑥ ランキング表示は、速報板でおこなう。
- ⑦ 背泳ぎのスタートは、バックストロークレッヅを使用可とするが、調整等は選手の責任のもと実施すること。

(4) 招集について

- ① 該当する競技のタイムテーブル時刻の10分前から開始する。
- ② 競技前に衣服を入れる袋を用意し、持ち歩くこと。なお、脱衣かごに直接入れないように徹底すること。
- ③ 招集所の場所は、あらかじめ確認しておくこと。

(5) 選手の退館について

競技が終了した選手は速やかに退館すること。

(6) コーチについて

プールサイドにコーチ席は設置しない。プールサイドでのコーチングは行わないこと。

9 チャレンジレースについて

- (1) 各種全国大会及び世界大会へのチャレンジレースを実施する。
- (2) 2026年4月1日以降の公認記録において、J O本選標準記録まで50mにつき0.50秒以内の種目について参加できる。その他の大会に対するチャレンジも前期と同様の基準で標準記録を定める。
- (3) 該当選手が本予選会に出場していることを条件とする。所属は問わない。
- (4) 参加種目数に制限はない。
- (5) 参加費 個人種目 1種目あたり 2,000円
リレー種目 1チームあたり 5,000円

10 会場内の使用方法について

(1) 更衣室の使用について

- ① 朝のウォーミングアップ前の更衣室は混雑することが予想されます。家から水着を着用し、更衣室では上着を脱ぐのみとすようにご協力をお願いします。
- ② 貴重品の管理については、所属ごとに管理するようにお願いします。
- ③ 泳ぎ終わり、更衣室を出るときには、自分の荷物はすべて持って更衣室を出ること。他の選手の更衣スペースの確保に協力すること。
- ④ 更衣室内では、スマートフォン等、カメラ機能のついた機器の使用のいっさいを禁止する。使用が確認された場合は嚴重に注意し、必要に応じて関係機関に連絡し、適切な対応をとる。
※状況によっては、データの内容の確認を求めることもあります。ご了承ください。

(2) 選手控え所について

指定された場所を使用し、ソーシャルディスタンスに留意すること。

- (3) プールサイドは上履きに限り使用を認める。ただし、靴底が白色・ゴム色の靴とする。なお、ロビーに行く際は必ず履き替えること。
- (4) 貴重品は持ち込まないこと。持ち込んだ場合は各自、各学校、各チームで管理すること。盗難、紛失等について大会主催者側は一切の責任を負わない。
- (5) その他、プールの使用については施設の利用規定に従うこと。

11 インフルエンザ・新型コロナ等の感染対策について

(1) 次の項目に該当する選手は、参加できない。

- ① 朝、家庭で検温し、37.5℃以上の熱がある場合。
 - ② 選手が感染し、出席停止等、登校していない状態にある場合。
- (2) 食事は極力避け、食事の必要がある場合は以下のことを守ること
- ① ごみはすべて持ち帰ること。
 - ② ペットボトルなど口をつけたものは持ち帰ること。
 - ③ マスクも捨てずに持ち帰ること。

12 その他

- (1) YouTube 配信については、原則行わない
- (2) プログラム販売を行わないため大会が近くなりしだい確定したプログラムを含む2次要項の配信をHPで行います。
- (3) 宿泊については、各団体（チーム）で手配すること。
- (4) 大会当日の弁当（昼食）の斡旋は行わない。
- (5) 怪我は、大会事務局側で応急処置は行うが、その後の対応は各団体（チーム）で行うこと。
※傷害保険等の加入は、大会事務局では行わない。
- (6) 応援の保護者の皆様へのお願い
 - ① 座席の占有を禁止します。物を置いての座席確保を禁止します。見つけ次第撤去します。

- ② 選手の種目が終わり次第、速やかに席を譲るようにしてください。
 - ③ 通告、会場係、役員の指示に従うようにしてください。
 - ④ 開門前に並ぶこと、物を置いて場所を取ることを禁止します。
 - ⑤ 観客席での会話は極力お控えください。
 - ⑥ 補水目的以外の飲食を禁止します。
- (7) 新聞やテレビ等の報道機関が取材に来ることもあります。ご了承ください。
- (8) 大会の忘れ物については、大会終了後2週間は大会事務局で保管するが、それ以降は廃棄する。